## 令和3年度 学校だより 6 月 号

# かご館写命

令和3年6月1日 文京区立駕籠町小学校 校長 矢部 明美

## ふれあい月間について

生活指導主任 萩原 咲弥香

東京都では、いじめや不登校、暴力行為等の問題行動の未然防止や早期発見・早期対応等につながる具体的な取組を推進することを目的とし、6月と11月を「ふれあい月間」としています。本校では、一人一人の子供の心を大切に受け止め、学校を安心して生活できる場にするために6月、11月、2月に「学校生活についてのアンケート」の実施、6月に「スクールカウンセラーとの全員面接(5年生)」の実施を予定しています。学校では、子供たちが集団で生活しています。人が集まれば、気持ちのすれ違いや感情の衝突が起こります。日々のそのようなトラブルやもめごとは、どの学級でも起こりえます。それらが起こった時には、事実を聞き取ったり、相談をしたりしながら解決に取り組んでいます。どの子供も、健やかに育ってくれることを願い、いけないことはいけないと指導をしていきます。特にこの期間には、道徳や学級活動で自他の生命の尊さや人への思いやりの気持ちなどについて話し合う機会を設け、規範意識や正義感を育て、いじめを防止することにつなげていきたいと考えています。

ふれあい月間を通して、学校では、自分の行動や友人関係を振り返る時間をとり、いじめ等の未然防止、早期発見に努めております。この期間は、ご家庭でもお子様の友人関係を把握できるよう、いつもより学校や友人に関わる会話を増やしていただけると幸いです。そして、日々のお子様の様子などで何か気になることがありましたら、各担任までご相談ください。今後ともご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

	C 日の行車スウ 川座 0 0 日		詳しい時程については、学年だよりをご参照ください。		
	6月の行事予定 出席22日		安···安全指導		
日	曜	行 事	日	曜	行事
1	火	安	16	水	
2	水	4 時間授業	17	木	自転車安全教室 (3年)
3	木	歩行者シミュレーター (2年)	18	金	
4	金	委員会	19	土	
5	±		20	日	
6	日		21	月	全校朝会 色覚検査 (4年希望者)
7	月	全校朝会	22	火	クリーン大作戦① (3・4年)
				^	東京グローバルゲートウェイ (6年)
8	火		23	水	4時間授業
9	水	児童集会 (委員会発表)	24	木	水道キャラバン (4年)
10	木	避難訓練	25	金	クラブ
11	金		26	±	
12	±		27	日	
13	日		28	月	全校朝会 4時間授業 (1~2年)5時間授業 (3~6年)
14	月	全校朝会 体力テスト始(25日まで)	29	火	
15	火	社会科見学(6年)	30	水	セーフティ教室 5 · 6 年 保護者会 (1.3.5 年 14:15- 2.4.6 年 15:00-)

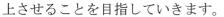
#### 体力向上の取り組みについて



体育向上担当 馬場 千恵

本校では、火曜日の中休みを「体力向上タイム」とし、体を使った遊びの日常化を図り、自分からすすんで 運動に取り組む態度を身に付けるための活動をしています。1学期前半は、「駕籠町ベーシック」の基本的な 動きや、大事なポイントの確認を学年ごとに行いました。今後は、状況を考慮しつつ、感染症対策をしなが ら、「運動遊びやさん」に取り組む予定です。6月からは、校庭で「とばし屋さん」を、体育館で「ヨガ屋さ ん」をクラス毎に行います。

運動遊びの中で体の動かし方を理解したり、運動のコツを習得したりすることで、楽しみながら体力を向









### 2年生の学習

2年担任 松浦 真紀子

1年生では、80字の新しい漢字を学習しました。2年生では、倍の160字を学習します。新しい漢字を楽しく学習している2年生ですが、「書く」「図書」や「読む」「読書」のように同じ漢字でも読み方の違う漢字や、「数」「数える」のように送り仮名によって読み方が変わる漢字に少々戸惑っています。「曜」や「園」などの画数の多い漢字も出てきて、「2年生になったら急に漢字が難しくなった。」という声も聞こえてきます。繰り返し練習することで読み替えまで正しく覚えて、学習した漢字を日記などに活用できるように頑張っています。

生活科の学習では、一人ひとり野菜を育てています。植木鉢で育てられる5種類の野菜「ミニトマト」 「ピーマン」「ナス」「オクラ」「エダマメ」の中から育てたい野菜を選んで苗を植えました。1年生で

アサガオやチューリップを育てた経験を生かして野菜作りに 挑戦しています。野菜はアサガオなどと違って虫がつきやす いので、これから、たくさんの実ができるにはどんな世話を したらよいのかを考えながら育てていきます。

夏には自分たちで育てた野菜を持ち帰って食べられる ことを楽しみにしています。

